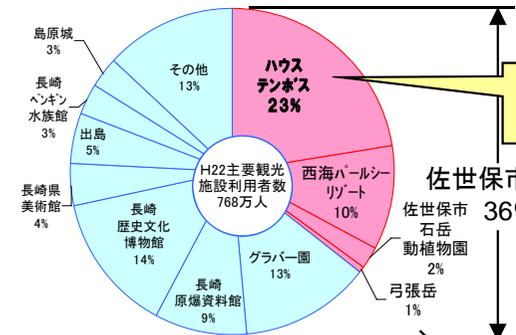


安定した走行が確保され、観光活性化に貢献

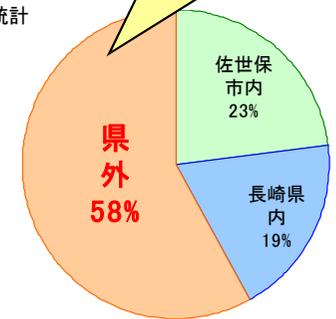
- ・西九州自動車道と佐世保市南部の「ハウステンボス」など観光拠点をつなぐ針尾バイパスの4車線化によって交通混雑が緩和し(混雑度2.08⇒0.66)、観光施設への安定した走行が可能となった。
- ・高速ネットワークへのアクセスが向上することから、県内各地の観光施設への周遊観光が促進され、地域の観光産業の活性化が期待される。



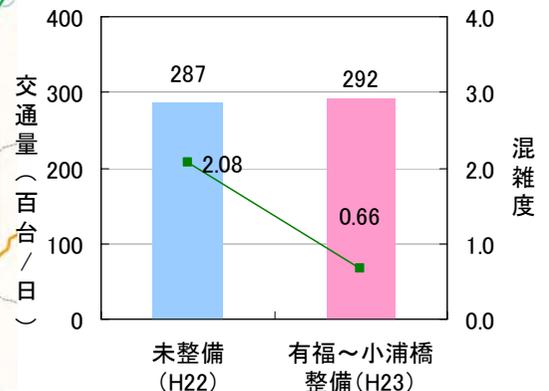
・ハウステンボスは
県内No.1の観光拠点

佐世保市シェア
36%

・ハウステンボスの観光客の
58%は県外から来訪



▲出発地別ハウステンボス来訪者割合
資料: アンケート調査結果 (H22.4)



▲4車線化区間の交通量・混雑度の変化 (有福高架橋～小浦橋)
資料: 交通量調査結果 (H22. 12. 14) 交通量調査結果 (H23. 10. 29)

当該区間は、ハウステンボスの観光客の多い休日には、混雑が著しく、平戸の夕日と歴史体験バスツアーのスケジュールに苦慮していました。今回の4車線化により、スケジュールが組み立てやすくなりました。
【日本風景街道ながさきサンセットロード事務局ヒアリング】